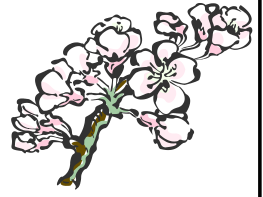




二俣川小だより



4月号

横浜市立二俣川小学校 平成31年4月5日

発行責任者 校長 池田 千晶

新しい物語

池田 千晶

穏やかな春の日差しのもと、桜の花が青空に映えています。4月1日には、日本中を湧かせた新元号の発表がありました。はじめて日本の古典から選ばれたという「令和」。日々の流れはすぐに大きく変わらずとも、様々なところで、リセットされて、新しい時代が動いていくのでしょうか。学校も新年度を迎えました。新1年生と新しい職員を迎えて、全学年が一つずつ進級して、どのような新しい物語が紡がれるのかとても楽しみです。

さて、ここで、学校に咲いている小さな花についてお伝えしたいと思います。学校の裏門を入ると、委員会の子も達が植えた花々が咲き誇っています。その綺麗に整備された花壇から、ちょっと離れたところに、鮮やかな黄色い小さな花が咲き誇っているのをご存じでしょうか。職員が、この花はカタバミの一種と教えてくれました。オオキバナカタバミであると思われます。昼間に咲いて、夕方には花が閉じます。あまりに可愛らしく、黄色が鮮やかで、2月頃から校長室にも時々飾っていました。不思議と心を惹かれた花でした。最近、この花言葉を調べました。花言葉は、「喜び」「輝く心」「母の優しさ」と書かれていました。まさに、今年度の学校が、「喜び」にあふれ、「輝く心」で溢れるようにありたいと、新年度の始まりにふさわしい花言葉であると感じました。また、今年146年目を迎える伝統ある学校であり、地域の方々に「母の優しさ」をもって大事に育てていただいていることも表している花言葉であると思いました。



二俣川の伝統を受け継ぎ、発展させるべく、今年も子どもを育てるパートナーとして保護者、地域の方々のお力添えをいただきながら、職員一同、子どもたちのために取り組んで参ります。どうぞ、1年間よろしくお願い申し上げます。